



生駒市議会議員 無党派 伊木まり子
ニュース 2023年9月

発行人 伊木まり子 〒630-0261 生駒市西旭ヶ丘1-2

Tel 0743-73-2828 // Fax 0743-71-6601

Email: ikomanomirai@iris.eonet.ne.jp

http://www.eonet.ne.jp/~ikomanomirai




安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう



9月4日
定例会開会

令和4年度の決算審査は9月19-21日

オンライン配信あり
録画視聴もできます

9月定例会では決算審査特別委員会で令和4年度決算を審査します。昨年までは特別委員会に4つの分科会を設置し、分担して審査していました。今年度から予算委員会を除く常任委員会が4つから3つになったため決算についても3常任委員会が所管する事業を3分科会で担当し審査します(1日1分科会開催)。税金が適切かつ有効に使われたか、しっかり審査したいと思います。定例会の議案はこちら →  をご覧ください。

【開催日程(8月18日時点での予定)】

	午前10時～
9月4日(月)	本会議・一般質問
5-7日	一般質問・本会議
11日(月)	経済建設委員会・予算委員会
12日(火)	厚生文教委員会・予算委員会
13日(水)	総務市民委員会・予算委員会
15日(木)	予算委員会
19-21日	決算審査特別委員会
26日(火)	本会議

だれもが自分らしく
輝けるために!

障がい者福祉計画策定に向けた取組、進行中!

今年度は第7期目となる新たな障がい者福祉計画の策定年です。これまで計画策定の際には手帳所持者向けアンケートを行ってきました。しかし、この計画の対象者である発達障がい児や発達に不安のある子どもを含め多くの子どもは手帳を所持していないためアンケート調査の対象に含まれていませんでした。私は3年前の6月議会で、計画の対象者である手帳を所持しない子どもたちの状況を把握するため、アンケート調査の実施を求めました。その結果、第6期計画の策定時には「発達に不安のある子どもの保護者アンケート」が実施されました。

今年度の6月議会では第7期計画策定の為に実施される「発達に不安のある子どもの保護者アンケート」を取り上げ一般質問を行いました。問題点を指摘し、より良いアンケート調査の実施を求めました。



伊木の一般
質問

アンケートは8/16に発送、対象のみなさんにはご回答いただいたことと思います。アンケート調査は生活支援センター、事業所、障がい者団体向けにも行われます。

今後、アンケート結果や関係者からのヒアリング調査を基に作成された計画原案については、生駒市障がい者地域自立支援協議会で委員のみなさんから意見を伺い、最終案が作成されます。その後、12月議会で議会の意見、12月中旬から約1ヶ月、市民のみなさんの意見聴取(パブリックコメント)を

経て令和6年3月に計画が策定されます。

第7期計画については、アンケート結果をしっかりと分析し、障がい者や子どもたち・保護者はどのような困難を抱え、どんな施策を求めているのか、関係機関や事業所はどのような課題を抱えているのか等十分把握し、だれもが自分らしく輝けるよう、きめ細かな施策が提案されることを期待します。

一方、国では、今年4月にこども家庭庁が創設され、児童発達支援、放課後等デイサービス(放デイ)、医療的ケア児への支援など、子どもたちへの支援はこども家庭庁で推進されることになりました。しかし、以前から指摘されてきた放デイなどの課題に対する体制整備が追いついていない現状です。



放デイの現状と課題

子どもは日々成長しています。国の体制整備を待っているだけでは適切な支援を受けられず、周囲の理解も得られず、いじめや虐待にあったり、不登校になるのではと私は危惧します。生駒市では本人や保護者の声を聞き、子どもたちの為により良い施策を提供していきたいものです。全ての子どもたちが自己肯定感を持って育ち、輝けるよう、取り組みます。



今年は障がい者福祉計画の上位計画である総合計画、保健・介護や教育・子育てなど様々な計画の策定年です。目が離せません!

コロナまだまだ要注意！ 県:新興感染症に備えた予防計画策定へ

コロナ感染者、増加中

5/8、新型コロナウイルス感染症(コロナ)が5類感染症扱いとなり、私たちに震撼させたコロナの脅威は薄れつつあります。しかし、コロナ感染者は増加しています。奈良県は8月中旬までにコロナ患者がすぐに入院できる「運用病床」を301床から412床に増床すると発表、生駒市立病院も5/8以降14床で運用していたコロナ病床を23床に増床する事になりました。

また、8/9、世界保健機構(WHO)は日本で感染例が増えている「EG・5」(オミクロン株に属する変異ウイルス)は感染力が強いとして警戒を呼びかけ、テドロスWHO事務局長は検査態勢の維持や、死者数やウイルスの遺伝子情報の報告継続などを加盟国に求める勧告(2025年4月末まで有効)を出しました。

現在も流行しているオミクロン株ではデルタ株のような重症例は少なくなりましたが、後遺症に悩まされる人もかなりおられます。コロナについてはまだここ3年半の知見しかないこと、今後も新たな変異株がてくと予想されることなど、まだよくわからないことが多く、油断禁物です。

マスクの適切な着用・手洗い・距離・換気等の感染防止策を心がけてください。適切な感染予防は今後見舞われるかもしれない新たな感染症にも有効です。

第8次奈良県保健医療計画・予防計画策定へ

今年度改定される第8次の計画には新たに「新興感染症等の感染拡大時における医療」が追加されます。また、今年度は奈良県感染症予防計画の改定も行われます。



第8次計画の策定について

2つの計画はこれまでのコロナ対応の教訓を活かし策定されます。第8次計画については医療審議会、予防計画については奈良県感染症対策連携協議会で話合われます。県は11月には案を作成、その後、パブリックコメントを経て、第8次計画は年度内、予防計画は令和6年4月に策定する予定です。



感染症対策連携協議会

一方、生駒市では在宅医療介護連携ネットワーク協議会が市内の医療機関(病院6、診療所:医科90、歯科62)、薬局(49)、看護や介護の事業所(164)にアンケートを実施し、これら関係機関におけるコロナ禍での対応や5類移行後の現状、今後のコロナの拡大や新たな感染症が発生した時の対応について集計しました。7月には多職種研修会「コロナ5類移行後の事業所対応について～リスク監視・事業継続計画(BCP)の視点から～」を開催。県の参事から講義を受け、ワークショップを行いました。

また、令和6年度は生駒市立病院事業計画の改定年です。9月定例会に提出される議案第54号は病院事業推進委員会委員の委嘱についての提案です。議案第54号可決後、時期は未定ですが、新たな委員も参加し事業計画について話合います。

市立病院は来年、開院から丸10年です。市内の医療事情の変化やコロナ禍を経て市立病院の役割は変わってきていると考えます。市立病院が安全安心な地域医療・地域包括ケアシステム実現のためにどのような役割を担うべきか、みなさんからの意見を傾聴したいと思います。

将来にわたる安全安心な地域医療は行政、専門家、医療関係者だけでなく、医療にアクセスするみなさんが一緒に考えることにより実現すると考えます。



【市議会の動き】

7/27 厚生文教委員会テーマを定めた調査を開始

私が委員長を務める同委員会は今年度「子育て支援について」調査を行います。事前に各委員からの質問を担当課に提出、27日には担当課から生駒市の取組について説明があり、質問に対し回答を頂きました。

8/1 第6次生駒市総合計画第2期基本計画の審査を開始

6月定例会で設置された総合計画特別委員会(委員8人)の第1回会議が開催されました。私は委員外議員として審査に加わっていきます。

8/18 議会運営協議会と全員協議会を開催

決算議案の取扱いや病院事業推進委員会の議会代表委員について協議。私は議会代表委員として議会の推薦を受けました。

8/24AM 普通救命講習会(災害対策委員会主催)

8/24PM 9月定例議会に上程される議案の説明会(決算議案を除く)

8/30 議会運営協議会と全員協議会を開催

一般質問や議案の取扱い、定例会の運営等を協議。

9/1 決算議案についての議案説明会



ブログもご覧ください。

編集後記: 春の生駒市議会議員選挙でご支援いただき5期目を務めさせて頂いております。生駒市の将来を見据えしっかり提案をしていきます。この夏、孫からもらった風邪を拗らせ熱発、細菌性細気管支炎・肺炎の診断を受け自宅で静養。アンケートの締切り(8月末)までにニュースをお届けしたかったのですが断念。一般質問を準備できなかった9月定例会は議案審査に注力します。伊木まり子

このニュースの発行・お届けに係る費用は政務活動費から支出しています。